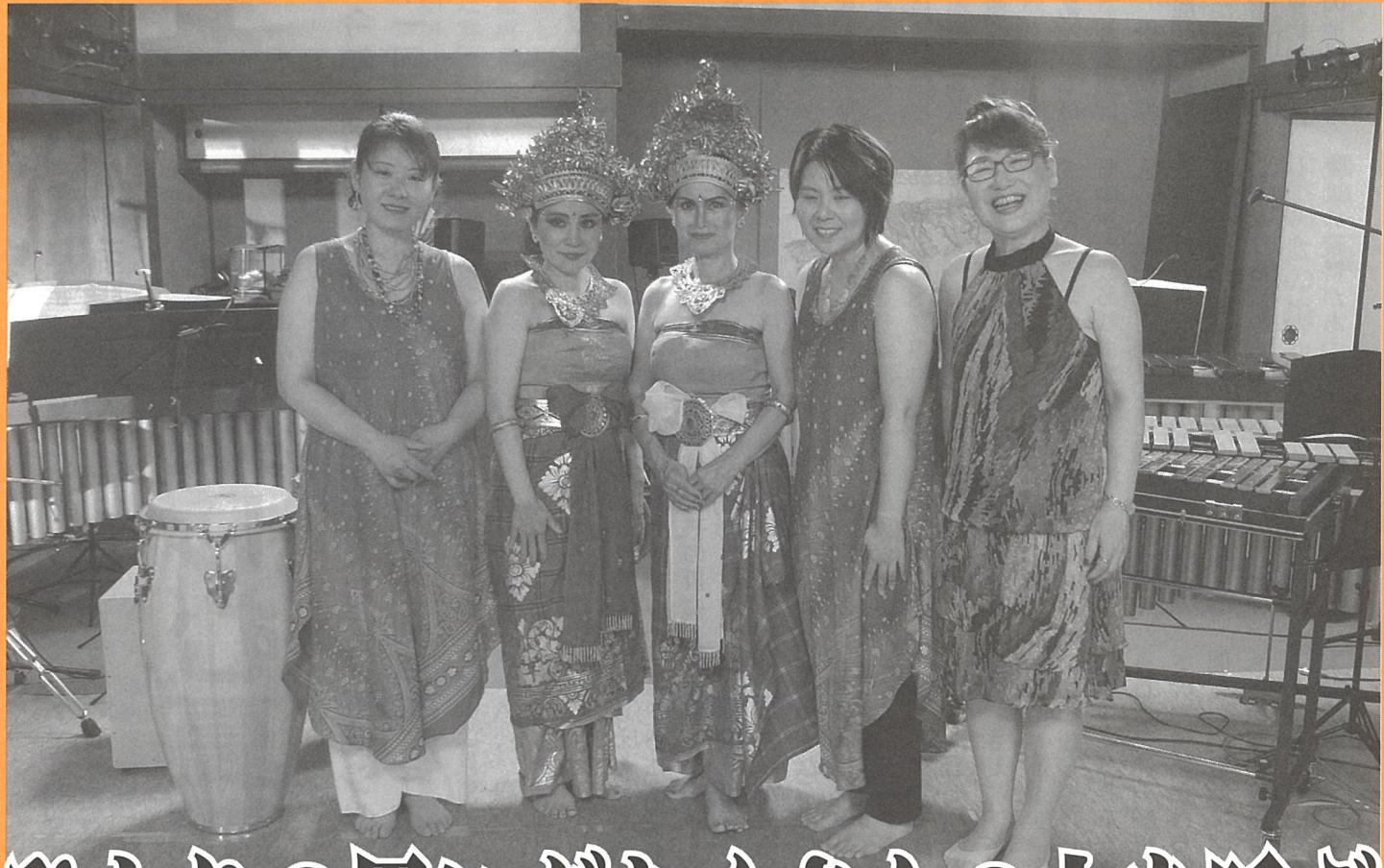


讃岐香川の様々な文化発展を応援します。

2016

秋

9月1日発行(季刊)



ひとりの思いがたくさんの人を呼ぶ

今年も源平の里、牟礼の石あかりが灯った。町ぐるみでのお接待を楽しみながら洲崎寺に行き着くと、石あかりSidetripが始まる。毎週土曜日の夜は、るいま組の粋な劇場の幕が上がる。(9月17日まで)

あ・うんの数寄講座「茶の湯をさらに楽しむ夏期講習」
高松市・彦根市姉妹城都市提携五十周年を迎えて
9月から11月までの茶華道・イベント情報
財団のお知らせ

あ・うんの数寄講座

茶の湯をさらに楽しむ夏期講習

去年に引き続き、今年も特別な講師の皆様をお迎えして、五回シリーズの講習会を企画致しました。第一回は野村美術の谷晃館長に、第二回目は、千宗屋宗匠にお話を伺いました。

■第一回 得庵コレクションと野村美術館

講師：谷 晃

（野村美術館館長）

巷は昨日に参議院議員選挙を終え、候補者の名を連呼していた選挙カーがなりを潜め、妙に静かな暑い夏の気配に満ちていました。そんな、外の暑さを払い落として集まつた受講生のみなさんを迎えたのは、スクリーンいっぱいに映し出された野村美術館玄関風景。いかにも茶道具展示の美術館らしい数寄屋建築のたたずまいです。

その、野村美術館館長の谷晃氏の「得庵コレクションと野村美術館」と題した講演は、美術館内部や展示品、野村別邸碧雲荘のスライド写真を取り混ぜて臨場感あふれるものでした。

野村證券を中心とした野村財閥を一代で築き上げた野村徳七氏の財界における名声はつとに有名ですが、戦内流の茶

人・野村得庵は知る人ぞ知る大茶人で、得庵にとって茶の湯は単なる趣味ではなく、能楽と事業とともに三位一体の存在だつたと、まず、得庵の茶の湯に対する姿勢の披露から始まりました。その折に、古田織部ゆかりの藪内流家元に入門したのは、先にお稽古を積んでいた菊子夫人の勧めによつたのでは……などと、夫唱婦隨ならぬ婦唱夫隨、仲よし夫婦の家庭の一面を想像させる話があり、偉大なる近代数寄者の出発点にほのぼのとしたものを感じました。

それはさておき、話は続きます。

茶の湯文化学がご専門の谷館長のたくさんのお著書の中に茶会記の研究に関するものが複数あります。茶の湯の歴史や茶人の人物像など背景を把握して読み解く茶会記は、單なる記録の書付ではなく、茶事の様子をドラマチックに再現させるような深い読み方でできるということでしょうか。しかし、学者の研究や分析は先人の資料があつてこそです。得庵の遺

した約五百会の自会記と約五百回の他会記もまさに一級品の資料になるわけです。が、それは、他の茶人たちと同様に、後世のために書き残したわけではなく、得庵の茶の湯に対する真摯な熱心さを証明する茶会記であつたろうと思います。それにも、招いたり招かれたりした茶会の並々ならぬ数の多さに驚くだけではなく、それぞれの茶会に対する得庵の真剣さや意気込みに圧倒されそうな記録は、得庵の研究熱心だとか、趣味の域を越して茶の湯とだけの形容では済まないものを感じさせます。言わざもがなではあります、大企業の第一線でグループ企業の総帥としての仕事は、私たちには想像を絶する激務さを伴つていたことでしょう。

豊臣秀吉になぞらえて「今太閣」を自認したとかも、単に、明治生まれの創業家の成功譚の仮託だけでなく、茶の湯と能樂を好んだ太閤・秀吉に共通する卓抜たる文化感覚が重なります。得庵自らの審美眼で蒐集した重要文化財を含む茶道具、墨蹟、絵画、能面、能装束など：質高い得庵コレクション、また、修練の心技で謡い舞つた観世流「安宅（勧進帳）」を演じる得庵の弁慶像。どちらも精神が集約された形です。

話は得庵の茶の湯の特質に移り、この時期、つまり大正から昭和の戦前にかけて、男の社交場として茶の湯が盛んだつた頃、財力はもちろん、美の追求、教養の研鑽、茶道の精神を会得しての主客一体、一期一会の茶会で、日本の伝統美を



体現した大名茶の湯をめざし、能の影響をうけながら研究熱心に名品主義を貫き、

大胆で度胸のある蒐集態度で、何より接待上手だつた。

さらに、交友や尊敬した人の紹介。益

田鈍翁、高橋等庵、松永耳庵、住友春翠、

小林逸翁、根津青山：伝説的な茶道数寄者の名がたくさん挙がりました。

そして、ふたたび、茶会の取り合わせ例として館蔵品の逸品映像がクリックされ、これらは当財団茶室二十周年記念茶会の一環として来秋に開かれる野村美術館茶会の予告という思わぬニュースに、

一緒に驚くと同時に、その日が待ち遠しいと隣同士思わず私語がたちました。

続いて、野村別邸碧雲荘の見どころの映像が次々と写し出され、さながら、南禅寺界隈にあつて東山を借景として琵琶湖疎水を引き入れて小川治兵衛が作庭したという碧雲荘をパーク散策するようなひとときでした。

以前、財団晴友会で見学訪問したみな

さんにとって、かつての感激再来、再認識しきりといつたのびやかな雰囲気で、話に圧倒され続けてきた緊張が溶け、こでも又、私語が交じつたり、うなづき合つたりしました。

その後、終始、穏やかにやさしく、時にはユーモアを交えて興味深い話をお聞かせいただき、谷館長を、一同の心からなる感謝の拍手でお送りし、スクリーンに戻った野村美術館の映像に余韻を感じつつ、散会となりました。

■第二回

「茶碗との語らい—飲みたい茶碗 点てたい茶碗」

講師：千宗屋

（武者小路千家家元後嗣）

土用の丑を迎えた七月三十日晴松亭にて、千宗屋宗匠（武者小路千家家元後嗣）による講習会が行われました。

講習前には、立札席にてお茶が振る舞われ、その床には若宗匠お持ち出しのお茶碗が三つ飾られました。一つは御陵碗、奈良時代から平安時代に作られた黒い土器のような素焼の器に高台がついています、しかし、高台よりお碗の底が出ていたため不安定でそこが何とも愛らしいお茶碗でした。

二つ目は、テレビでも紹介されました、若宗匠のモロッコ旅先で見つけた色絵のお茶碗、銘を新邊宿（アラベスク）とご自身で付けられ大変気に入られているご様子でした。

三つ目のお茶碗は、瀬戸の筒茶碗で高台が桜高台になつていて大変珍しいお茶碗でした、しかし、このお茶碗を若宗匠が手に入れられたのが、平成二十三年三月十日、翌日は皆様の記憶にも新しい東日本大震災の日です、その年は、日本全体が花見をする気持ちにもなれず、静まり返つた年でした、テレビで連日流れる被災地の悲惨な状況を見ながらこのお茶碗と共に冥福をお祈りしたそうです。

講習会が始まると二〇一四年四月より藝術新潮で連載されたお茶碗を中心に五つの項目に分けご説明を頂きました。ま

ずは、連載に初めて登場した御陵碗。お墓に添えられた使い捨てのお茶碗。選んでいただきお茶に興味を持つて頂きたいという理由だそうです。しかし意外などに反応があり連載後、御陵碗の相場が上がつたそうです。（笑）

連載第二回目に選んだお茶碗は、小井戸茶碗 銘五月雨（平瀬家伝来）五月号に因み選ばれたのが大きな理由。第三回は、イタリア産のカフェオーレボール。この茶碗は、若宗匠が北イタリアに行かれた際、ユーロで買われたとのこと。しかし、お茶道具として違和感がなく、とても使いやすいとのことでした。見立てのポイントは、一見見立てと気が付かないものが良いそうです。

唐物としては、灰被天目、高麗物と思われていた、絵高麗梅鉢茶碗、梅といつても本当は七曜紋、星を表されたもの梅と言われたのは天神祭りで使われるようになつてからのことで、今ではなくてはならないものに。

唐物の最後は、祥瑞 水玉茶碗、高麗物に移り、雲鶴筒茶碗、高麗青磁に属する茶碗。一言で雲鶴といつても古いタイプと新しいタイプの二種類あるそうです、御本手は新しいものに属します。小井戸茶碗の説明の後、井戸茶碗に近いことから、そば茶碗、蕎麦と書いていることもあり、蕎麦色であるためとも諸説あるそうです。



近現代の代表は、川喜田半出泥子、そして若宗匠とも親交が深い黒田泰藏、内田鋼一。どのお茶碗の話も分かりやすく引き込まれるような時間でした。

しかし、若宗匠が挙げられたポイントとして、道具組をしてみて違和感のないもの。そして、何よりお茶のための道具であることとおつしやられましたが、一ユーロのお茶碗からうん千万円のお茶碗まで幅広くご説明された内容を考えると納得でした。

この様なお茶碗の説明を分かり易く話していただき感謝と共に若宗匠の魅力に触れ心弾む一日でした。

茶華道ガイド

安部流洗心会四国支部 ☎ (0877)86-3442	10/13 多度津分会 観月茶会 席主：多度津分会 多度津町民会館2Fホワイエ 300円 17:30~20:00	11/13 創立第60回記念茶会 第1席（楓の間）席主：岸宗源 第2席（松の間）席主：琴松会 玉藻公園披雲閣 1,100円 9:00~15:00
11/13 栗林公園月金 席主：安部流洗心会四国支部 掬月亭 前売600円・当日700円（入園料別） 9:00~15:00	11/3 坂出分会 文化的茶会 席主：小西宗寿 翠松閣 500円 10:00~15:00	茶道石州流宗家高松会 ☎ (087)874-5980
表千家同門会香川県支部 ☎ (087)845-4638	11/3 丸亀分会 文化的茶会 生涯学習センター 500円 10:00~15:00	9/15 十五夜觀月茶会 席主：石州流宗家高松会 高松国分寺ホール 無料 18:30~20:30
9/18 支部創立記念茶会 席主：土井宗以・美澤宗包 玉藻公園披雲閣 1,200円 9:00~15:00	11/6 多度津分会 芸術展茶会 席主：多度津分会 多度津町福祉センター2F 500円 9:00~15:00	石州流讚岐清水派石州会 ☎ (087)898-6569
11/13 東讃地区四季茶会 席主：土井宗友 中條文化振興財団 600円 9:00~15:00	11/20 善琴分会 働く婦人の家まつり茶会 席主：青年部・善琴班 善通寺総合会館 300円 10:00~14:00	10/16 宗門公344年祭記念茶会 席主：坂東宗美、 金丸宗洋・川田宗美・里野宗絹・地下宗利 玉藻公園披雲閣 1,100円 9:00~15:00
香川大学表千家流茶道部 ☎ (080)6348-0559	11/27 坂出分会 月金 席主：B社社中 勤労福祉センター 500円 10:00~14:00	武者小路千家香川官休会 ☎ (087)851-2258
9/18,10/16月金 龍光塾 500円 10:00~14:00	11/27 善琴分会 國護神社新嘗祭 席主：善通寺教授者 護國神社 500円 10:00~15:00	<香川官休会月金> 無量寿院 600円 9:00~15:00
琴平月金茶道会 ☎ (087)58-9551	11/27 善琴分会 琴平町文化祭 席主：琴平教授者 アクト琴平 200円 10:00~15:00	9/4 席主：小池公江 11/6 席主：山地久子
9/25 月金 席主：宮武宗隆 松尾寺 500円 9:00~15:00	11月 観音寺分会 月金 観音寺分会教授会 働く婦人の家 500円 10:00~15:00	高松市香南歴史民俗郷土館 ☎ (087)879-0717
10/10 金刀比羅宮例大祭奉祝 奉贊茶会 主席：金丸洋子（清風流） アクト琴平 200円 10:00~15:00	12/4 多度津分会 月金 席主：村井宗美 多度津町福祉センター2F 500円 10:00~15:00	<由佐城金茶会> 第2研修室 当日500円 9:30~14:00
11/27 琴平町文化祭 主席：田中宗武・片桐宗恵・上杉宗邦・宮武宗隆 アクト琴平 200円 10:00~15:00	12/4 善琴分会 月金 席主：和善会 樟蔭軒 500円 9:00~14:00	9/18 席主：真子宗博（表千家） 10/16 席主：綾野宗悦（茶道石州流宗家高松会） 11/20 席主：熊野宗翠（裏千家）
茶華道一茶流久松会 ☎ (087)881-1313	茶道裏千家淡交会高松支部 ☎ (087)861-3136	栗林公園觀光事務所 ☎ (087)833-7411
11/6 一茶流久松会茶と花会 席主：角陸一彩 玉藻公園披雲閣 1,300円 9:30~15:00	9/4 月金 席主：坂東宗代 中野天満宮 前売600円・当日700円 9:00~15:00	9/17~19 第5回秋の高校生大茶会 掬月亭他2会場 前売300円・当日400円（入園料別） 9:00~15:00
嵯峨御流 ☎ (087)822-1070	9/11 栗林公園月金 席主：北村宗純 掬月亭 前売600円 9:00~15:00	中條文化振興財団 ☎ (087)826-3355
12/2~4 嵯峨御流華道香川司 創立90周年記念華展 玉藻公園披雲閣 無料 10:00~16:00 (4日は15:00まで)	10/2 月金 席主：塩谷宗恵 中野天満宮 前売600円・当日700円 9:00~15:00	10/2 10月金 五人様茶会 5,000円 主席：裏千家 楽茶俱楽部
茶道裏千家淡交会香川支部 ☎ (0877)58-9551	10/2 こども茶会（高校生担当） 席主：高松学校茶道 文化会館 400円 10:00~14:30	11/20 11月金 五人様茶会 5,000円 濃茶主席：裏千家 阿河宗美 薄茶主席：裏千家 塩田宗雅
9/4 坂出分会 月金 席主：井上宗洋・北地宗直 勤労福祉センター 500円 10:00~14:00	11/6 月金 席主：百々路宗寿・百々路宗恵 中野天満宮 前売600円・当日700円 9:00~15:00	以上の中條文化振興財団の茶会はいずれも点心席を含みます。 詳細は、財団行事予定をご覧ください。
9/25 善琴分会 月金 席主：宮武宗隆 松尾寺 500円 9:00~15:00	茶道石州流琴松会 ☎ (087)888-5311	
10/9 善琴分会 茶筅供養 席主：善通寺教授者 総本山善通寺 500円 10:00~15:00	10/30 第106回静風会茶会 本席席主：岸宗源 長尾寺 1,200円 9:00~15:00	
10/9 坂出分会 月金 席主：岩崎宗恵 勤労福祉センター 500円 10:00~15:00		

イベントガイド

さぬき市志度音楽ホール ☎ (087)894-1000	坂出市民美術館 ☎ (0877)45-7110	くまるがめ文化芸術祭主催展覧会>丸亀市生涯学習センター
9/11 ニューアーティスツリサイタル Vol.22 「若狭知恵フルートリサイタル」 14:00~●	9/8~11 毎日児童生徒硬筆展 9:00~■	10/8~16 前期展 書・文芸展 9:00~■
9/25 「上妻宏光Standard Songs 2016」 三味線とPIANOで奏でる名曲達 14:30~●	9/16~25 てんざらはさら絵画展 9:00~■	1Fギャラリー 9:00~■
12/4 ニューアーティスツリサイタル Vol.23 「森西恵里奈ピアノリサイタル」 14:00~●	9/16~25 アール・ブリュット ふしげなたね2016 9:00~■	10/22~11/3 後期展 絵画・写真・工芸 9:00~■
坂出市建設経済部産業課にぎわい室 ☎ (0877)44-5015	10/8~30 現代童画の世界展2016 9:00~■	1Fギャラリー 9:00~■
9/13~17 香風園観月会 香風園 18:00~■	11/5・6 MOA児童作品展 9:00~■	11/2~3 生花展 4F講座室1・2・4、5F視聴覚室、 小ホール 9:00~■
9/13~19 さかいで夜めぐり 郷土資料館・鳥瞰庭 18:00~■ (一部)	11/16~20 香川県高等学校総合文化祭写真展 9:00~■	11/3 お茶会 2F大広間 10:00~■
9/18,10/16,11/20 悲運の帝 崇徳上皇のゆかりの地を巡る 坂出市観光案内所 9:30~●	12/3~11 第54回 坂出市美術展覧会 9:00~■	丸亀市民会館 ☎ (0877)23-4141
9/25 坂出昔話（ヤマトタケル編） 坂出市観光案内所 9:00~●	10/8 「天皇と将軍の華麗なるパレードー江戸初期行幸図 屏風の世界ー」 講師：実方葉子（泉屋博古館学 芸課長）2階講堂 13:30~■ (先着40名、要事 前申込 申込期間9/1~10/2)	9/11 丸亀シティフィルハーモニックオーケストラ 第5回定期演奏会 大ホール 14:00~●
10/8 琴平急行電鉄跡を訪ねて 坂出市観光案内所 9:30~●	かまとホール ☎ (0877)46-2178	9/17 ばっちゃん劇場10周年記念作品 ミュージカル「お遍路さんどうぞ」 大ホール 14:00~●
10/8~11/6 坂出アートプロジェクト 坂出市内（旧藤田外科医院） 10:00~ (料金未定)	9/3~25 四宮富一展 未来の空間を求めて 10:00~●	10/19 松竹大歌舞伎 大ホール 12:30~17:00~●
10/22,11/5 さかいで三島物語 坂出市観光案内所 9:00~●	10/1~23 平岡朋美陶展 さぬきブルー物語 10:00~●	10/22,23 プリンセス天功×吉本新喜劇 「NEW イリュージョン新喜劇」 大ホール 22日19:00~、23日16:00~●
10/22 与島・小与島、11/5櫃石島・岩黒島 菅原道風の風を感じて 坂出市観光案内所 9:10~●	11/5~27 津島拓郎「雪景」「夕景」展 10:00~●	あーとらんどギャラリー ☎ (0877)24-0927
11/6 崇徳上皇の足跡をたどる 坂出市観光案内所 9:10~●	12/3~25 北岡省三 漆芸・木芸8人展 10:00~●	9/9~11 「アートフェア アジア 福岡2016」 出展 ホテルオークラ福岡
11/12 加茂山植垣群と国宝神谷神社をめぐる 坂出市観光案内所 9:00~●	サクランボたどり(多度津町民会館) ☎ (0877)33-3330	9/30~10/2 「神戸アートマルシェ2016」 出展 神戸メリケンパークオリエンタルホテル13F ●
11/19 秋の遍路道を歩く 坂出市観光案内所 9:00~●	9/4 第1回サクラートたどりJr.コンサート 14:00~■	10/9~11/6 周豪 展 10:00~■
11/27 城山城の遺跡をめぐる 坂出市観光案内所 9:00~●	10/2 音を楽しもう♪子どもと大人のリトミック ワークショップ (3~5歳児と保護者対象。 定員30名、要事前申込)	11/7~11/27 リトルクリスマス展 10:00~■
坂出市教育委員会文化振興課 ☎ (0877)44-5036	10/16 ほっことコンサート！Vol.11 JAZZ CONCERT 2Fホワイエ 14:00~●	爻まん美術館 ☎ (0877)75-3000
10/8~10 演劇大学inさかいで 香風園、市民ふれあい会館 時間・料金は講座により異なる●	11/3, 6 第7回 街角コンサート ~音楽のつどい~ 9:00~■	9/2~6 陶 三人展 9:00~■
坂出市民ホール ☎ (0877)45-1505	丸亀市文化協会 ☎ (0877)24-8822	9/9~13 長尾陽輝日本画 9:00~■
9/3 映画「人生、いろどり」上映会 10:30~13:30~●	9/3 香川県文化協会西讃支部舞台発表会 ユーブラザうたご 10:00~■	9/16~20 安倍耕治うるし展 9:00~■
9/4 第33回 坂出市民大学 13:00~●	9/17~25 第12回うちわに描こう絵画展 丸亀市生涯学習センター 1Fギャラリー 9:00~■	9/23~27 山野書道教室作品展 9:00~■
9/24 映画「カンカンSUN」上映会&サヌカイト コンサート 時間未定●	10/29-30芸能フェスタ2016 丸亀市生涯学習センター3Fホール 10:00~■	9/30~10/4 愛情いっぱい手仕事展 9:00~■
10/2~11/23 第58回 坂出市民芸術祭 催し物によって時間は異なる●	11/5・6 あやうたふるさとまつり協賛・展示・舞台 丸亀市綾歌総合文化会館アリエックス 11/5舞台 (丸亀市文化協会会員による舞台発表) 12:00~■ 11/5・6展示 10:00~■	10/7~11 勝賀瀬寛備前焼陶芸教室展 9:00~■
		10/14~18 妹背裕展 9:00~■
		10/21~25 藤井洋子水彩画展 9:00~■
		10/28~11/1 日本国画五人展 9:00~■
		11/4~8 武蔵野美術大学香川支部展 9:00~■
		11/11~15 第2回 水彩画同好会展 9:00~■
		11/18~23 一穂窯作陶展 9:00~■
		11/25~29 野口惠美子日本画展 9:00~■

イベントガイド

香川県立ミュージアム ☎ (087)822-0247

- ~9/25 書画のよそおい 常設展示室1 9:00~●
 10/8~11/27 KAMEN' Japanese Masks "幽玄の美・能面" 常設展示室1 9:00~●
 <瀬戸内国際芸術祭2016>
 ~9/19 連携事業 ワンロード -現代アボリジニ・アートの世界- 特別展示室 9:00~●
 ~9/19 関連 特別企画展覧会 香川漆芸の祖 玉緒象谷生誕20周年 香川漆芸美術展 ~その始まりと今~ 常設展示室4・5 9:00~●
 10/8~11/27 連携事業 イメージの力 一国立民族学博物館コレクションにさぐる- 特別展示室 9:00~●
 10/8 イメージの力をさぐる 国立民族学博物館コレクションから 講師: 吉田憲司 (国立民族学博物館副館長・教授) 講堂 13:30~■ (要事前申込)
 10/8~12/24 関連 特別企画展覧会 れきみん々東京大セレクション展 瀬戸内のくらし ハレとケ 常設展示室4・5 9:00~●
 <瀬戸内歴史民俗資料館>
 ~9/19 '60年代JETO収集海外優秀商品 -香川県保管の驚きの見本群- 9:00~■
 10/8~12/11 型の造形・デザイン 9:00~■
 高松市歴史資料館(サンクリスタル高松) ☎ (087)861-4520
 11/5~12/18 第72回企画展「藩校・講道館(仮称)」 高松藩校講道館の歴史と講道館に学んだ人々の資料を通して近世から近代にかけての高松の教育を紹介 9:00~●

菊池寛記念館(サンクリスタル高松) ☎ (087)861-4502

- 9/6~10/10 ミニコレクション展「と姉ちゃんと暮らしの手帖」 3階研究閲覧室 9:00~●
 9/17~10/16 第25回文学展「生誕120年記念 宮沢賢治」 4階企画展示室 9:00~●
 9/17 特別講演会①「祖父 清六から聞いた 宮沢賢治」 講師: 宮澤和樹(林林風舎 代表取締役・資治弟清六氏の孫) 3階視聴覚ホール 10:30~■ (先着200人)
 特別講演会②「今求められる宮沢賢治の宇宙観 -宇宙意志と科学・宗教・芸術」 講師: 山根知子(ノートルダム清心女子大学教授) 3階視聴覚ホール 13:30~■ (先着200人)
 9/22 特別行事 宮沢賢治作品朗読会① 「セ口弾きのゴーシュ」 出演: NHK高松放送局 アナウンサー・キャスター 3階視聴覚ホール 14:00~■ (先着200人)
 9/24~25 特別行事 プラネタリウム番組「銀河鉄道の夜」 KAGAYA作 上映会 3階視聴覚ホール 11:00~、 14:00~■ (先着200人)
 10/2 特別行事 石の民俗資料館 presents 宮沢賢治ランブシェードを作ろう! 10:00~● 講師: 高松市石の民俗資料館 3階第1集会室 (要事前予約・先着20人小学生以上・小学生は保護者同伴)
 特別行事 宮沢賢治作品朗読会② 「どんどんりと山猫」「注文の多い料理店」 他 出演: 朗読ユニット「半熟姉妹」 3階視聴覚ホール 14:00~■ (先着200人)
 11/18 記念講演会 講師: 林真理子(直木賞作家、直木賞選考委員) 対談: 林真理子×菊池夏樹 第1小ホール 15:30~■ (入場整理券を10月以降に先着順で配布)
 <文芸講座> 3階第1集会室 13:30~■
 9/3 「平家物語・木曾最高」にみる美 講師: 小野泰子(元県立高等学校長)
 10/1 「西行物語」を読み(V) 講師: 石川一(奈良大学文学部教授)
 11/5 高見順賞の詩人 塔和子の詩の世界 講師: 平峯千春(塔和子の会会員)

高松市生涯学習センター ☎ (087)811-6222

- 9/8、15 古文書解説講座~江戸時代の日記を読む~ 講師: 野中寛文(香川県立文書館資料調査委員会委員) 大研修室 10:00~■ (要材料費)
 9/13 独土の伝統工芸 かがり手まりを作ろう(模様: 千鳥の花) 講師: 講岐かがり手まり保存会 大研修室 13:00~●
 9/15~29、10/20~27、11/3~24 やさしい切り絵教室 講師: 田端五郎(切り絵作家) 実習室 10:00~■ (要材料費)
 9/23、10/7~21、11/4~18 簡単な脳トレ!立体折紙でなにくろう? 講師: 木村杏(一級紙技士) 実習室 13:30~●
 9/28 食を学び料事を愉しむ~エヌスコ無形文化遺産『和食』再発見~ 講師: 山本亘(懶二蝶 代表取締役社長) 小研修室・料亭『二蝶』 10:30~●
 10/6~13・20 歴史に学ぶ人生の知恵(全3回) 講師: 上原敏(歴史研究家) 大研修室 13:30~●
 11/15~22・12/6~13 民俗学講座 講師: 谷原博信(四国学院大学非常勤講師) ほか2名 大研修室 10:00~●
 <市民大学2016> 多目的ホール
 9/10 「人生をもの語ることの意味~しなやかに再構成する~」 講師: やまだようこ(立命館大学特別招聘教授・京都大学名誉教授) 13:30~■
 10/1 「戦国真田氏の軌跡~近世大名への道程~」 講師: 丸島和洋(慶應義塾大学文学部非常勤講師) 13:30~■

- 10/1 「装置としての学校唱歌」 講師: 山東功(大阪府立大学21世紀科学研究機構教授) 14:50~■
 <まなび映画CAN>多目的ホール 13:00~■
 9/27 ⑥「さぬき映画祭2016優秀企画上映作品『帰つてきまい』」、「昭和名人芸大全③」 13:30~■
 <古典文学講座「方丈記」をもう一度読む>大研修室 10:00~●
 10/5~19・26 第1部(全3回) 講師: 奈良正(元香川大学非常勤講師) 10:00~●
 10/27、11/3~10 第2部(全3回) 講師: 矢野坂典之(元県立学校校長) 10:00~●
 11/17~24、12/1 第3部(全3回) 講師: 矢野坂典之(元県立学校校長) 10:00~●

- 栗林公園観光事務所 ☎ (087)833-7411
 11/19~28 栗林公園 秋のライトアップ 栗林公園内 21:00まで(入園は20:30まで)●

玉藻公園 ☎ (087)851-1521

- 9/10 菊作り講習会 披雲閣
 10/5~14 アートatナイト フェスティバル 披雲閣
 10/15~11/4 菊花展 二の丸跡
 10/21 披雲閣オリジナルコンサート2016 披雲閣 19:00~●
 10/23 屋島ライオンズクラブ茶会 披雲閣

ミューズホール ☎ (087)833-0013

- 9/4 桂こけ枝独演会 13:30~●
 9/17 第10回香川県親守寺優秀作品発表会 13:00~■
 10/23 第26回グレンツェンピアノコンクール本選課題曲公開レッスン 13:00~●
 10/29 かがわ教育の日のつどい 時間未定■
 11/13 香川県教育会館ミューズホール創立30周年記念公演 濱戸内海の鼓動CONCERT 13:30~●
 11/20 香川県高校放送コンテスト 9:00~●

高松テルサ ☎ (087)844-3511

- 10/15 500人のうたごえ喫茶 ホール 13:00~●

高松市文化財課 ☎ (087)839-2660

- 9/11 ひょうげ祭り
 香川町浅野集落研修センター~新池 14:00~■
 9/22 田井の子ども神相撲 六萬寺(牟礼町) 12:00~■
 10/15~11/13 第61回高松市菊花展競技会 玉藻公園 8:30~■ (要入園料)
 <「探究!たかまつ遺産 人・もの・場から高松の歴史と地域を考える」> 9/3 第1回「鎧岐型前後円墳」を提唱する意義(仮) 高松市中央図書館2階視聴覚ホール 10:00~■
 第2回 東アジアの積石塚と石清尾山古墳群 高松市中央図書館3階視聴覚ホール 10:00~■
 第3回 現地説明会(福岡山北端1号墳・福岡山1号墳) 集合場所・時間未定■

- <ふるさと探訪> 9/25 「郷東の歴史を訪ねる」(予定) 集合場所未定 9:30~■
 10/23 「庵治町の社寺を訪ねる」(予定) 集合場所未定 9:30~■
 11/27 「多度津の史跡を訪ねる」(予定) 集合場所未定 9:30~■

高松市文化芸術振興課 ☎ (087)839-2636

- <サンポートホール高松> 9/19 新国立劇場バレエ団 こどものためのバレエ劇場「白鳥の湖」 大ホール 13:00~●
 10/2 濱戸フィル ティータイムコンサート ハロウィンスペシャル 第2小ホール 13:00~、15:30~●

- <高松国分寺ホール> 9/18 やなせななハートフルコンサート 14:00~●
 10/2 国分寺寄席(落語会) 14:00~●
 10/8 ムーンナイトコンサート
 エントランスロビー 18:00~■
 10/15 越聴(ツアオライ) 二胡コンサート 18:30~●
 10/21 岡林信康 弾き語りライブ2016 19:00~●
 10/29 宝塚OG公演 「4Stars with 杉ノ内由紀」 18:30~●
 10/30 ウィンナーバレッタをあなたに 18:30~●

NHKふれあいギャラリー ☎ (087)825-0160

- 9/6~11 財田町写真同好会作品展 9:30~■
 9/13~18 木太陶芸教室作品展 春夏秋陶会 9:30~■
 9/27~10/2 第20回西丈人水墨画教室展 9:30~■
 10/11~16 楽浪(さざなみ) グループ書展 楽浪書道院 9:30~■
 10/18~23 NHK文化センター水墨画・墨彩画作品展 9:30~■
 10/25~30 ばら香るパネル展 ばらとガーデニング協会(竜雲ばらクラブ共催) 9:30~■
 11/8~13 大河ドラマ「真田丸」巡回展 NHK高松放送局 9:30~■
 11/29~12/4 和みの書 工藤筆耕教室 9:30~■
 高松三越美術画廊 ☎ (087)825-0738
 8/30~9/5 中島潔 版画展 10:00~■
 9/6~12 備前 北野勝彦 作陶展 10:00~■
 9/13~19 山本正英 油絵展 10:00~■
 9/20~26 中里隆と 10:00~■
 9/27~10/3 藤田禪治展 10:00~■

- 10/4~10 タケダアキコ 二ホン画展 10:00~■
 10/11~17 真清水福山 茶陶展 10:00~■
 10/18~24 千住博 版画展(第1週) 10:00~■
 10/25~31 千住博 版画展(第2週) 10:00~■
 11/1~7 成田康 油絵展 10:00~■
 11/8~14 九谷焼 伊豆威幸二 10:00~■
 11/15~21 玉野勢三 彫刻展 10:00~■
 11/22~28 藤井勉展 10:00~■
 11/29~12/5 中西繁 絵画展 10:00~■

かおり園 ☎ (087)821-5957

- 9/14~18 古今茶之湯総合展 恒例となりました新古茶道具五百余点を一同に展示即売致します(大特価コーナー設置) 御坊町福善寺2階 10:00~■

桜ショップ高松店 ☎ (087)831-8866

- 10/21~27 小泊良 うつわ展 沖縄の陶芸家 小泊良氏の作品展10:00~■

ギャラリーen ☎ (087)851-3711

- 10/21~31 阪口鶴代 絵画展 10:00~■
 11/7~12 水口咲 漆器展 10:00~■
 11/10~20 野村レイ子 木のうけつ草木染展10:00~■
 11/16~23 水垣千悦 陶器展 10:00~■

内町ギャラリー Tamamo ☎ (087)822-1037

- 9/16~19 『夕陽の陶芸家 福嶋伸彦展2016』 撫き落とし技法による夕陽の情景は「明日への希望」は昇る。NHKドキュメント放映。イス、アメリカで個展。2015年ハート&アート・新国立美術館、「特別選賞」受賞10:00~■
 9/21~25 「ひないろ展」吉本徹也 童心がひびくやまと絵、日本の文様と自然の理を描く11:00~■
 10/1~5 Fur & Leather展~SUN RASCAL 東さぬき市津田将志の工房から創業50周年を記念し職人の手仕事で丁寧に仕上げた作品を展示10:00~■
 10/6~10 「三人展」藤村英代(組紐)、山口数馬(皮革・アクセサリー)、Ben(オブジェ) 10:00~■
 10/18~23 「遊牧民の手織展~キリム展」トルコの各地から集められた貴重なオールドキリムの絨毯、キリム雑貨やハンンドメイドアクセサリー10:00~■
 10/24~30 「大渊委佐子と栗林桐子二人展」藍、柿しぶ、手染のオシャレな帽子、古布の袖でモダンなリメーク服 10:00~■
 11/3~6 「漆とゴールドのジュエリー展」 櫛橋利佳子 10:00~■
 11/7~11 もたとう「生活骨董展」手元において毎日オシャレに使いたい江戸のもの~昭和のもの 9:00~■
 11/15~20 「+mode THE Exhibition of Artful Felt & Jewelry」香川在住のフェルト作家と関東中に活躍する2人の金工作家のコラボレーション展 10:00~■
 11/22~27 「日本画と織の二人展」 成合彩 & 河本貴子 10:00~■
 11/29~12/4 「坂雅子BAG&アクセサリー展」シンプルで軽くオシャレながら使い勝手の良いバッグ。ポップで軽いアクセサリー等々 10:00~■

高松市香川歴史民俗郷土館 ☎ (087)879-0717

- <2市民ギャラリー> 企画展「守る・攻める 城と館展」 9:00~■
 9/3~25 共催展「第20回 土遊会 陶芸展」 9:00~■
 10/10~16 共催展「第17回 香南文化交流展」 9:00~■
 10/22~12/4 企画展「日本刀展(仮称)」 9:00~■

高松市塩江美術館 ☎ (087)893-1800

- ~12/18 [平成28年度第II期常設展] 生きこと、生きるもの 9:00~●
 9/10~16/1・2 共催展「上西竜二展(仮)」 9:00~●
 10/18~23 「貸館」三原敏文・須藤和利 二人展(仮) 9:00~●
 企画展示室 9:00~●
 10/29~11/13 かがわ・山なみ芸術祭2016 塩江町エリアー時と共に 9:00~●
 11/19~27 「貸館」戸田由美子 写真展(仮) 企画展示室 9:00~●
 高松市石の民俗資料館 ☎ (087)845-8484
 9/16~25 共催展「長月展」 企画展示室 9:00~■
 10/8~11/13 企画展「石の里のアーティストたち『テーマ・庵治石』Part15」 芝生広場 9:00~■
 10/10~ SWOJYASコサート 14:00~■
 11/5 ワークショップ「石割アート」 講座研修室 13:30~●
 10/8~11/13 企画展「匠雲の仲間たち」 企画展示室 9:00~●
 10/15 音楽の花束 エントランスホール 18:30~●
 11/18~27 共催展「染色すなご会作品展(仮)」 企画展示室 9:00~■
 9/16、10/14、11/11 古文書を読む会(5)~(7) 江戸時代の和歌等を読み解いて 講師: 加藤 優(元徳島文理大学教授)
 講座研修室 14:00~教材費要
 土庄町教育委員会 ☎ (0879)62-7013
 11/5~6 土庄町民文化展 土庄町総合会館 9:00~■

●は有料、■は無料、▲は参加料、★は整理券が必要です。(記号表示は判明したもののみ)

「文化通心」第92号は12月1日発行です。次の期間(12月1日から2月末日)の情報を11月10日までにお知らせ下さい。☎ (087)826-2212

■財団のお知らせ

財団賞についてのお知らせ

毎年、財団の設立記念日の十月一日に行われており、今年で二十三回目となります。当財団の財団賞は、大変残念ながら該当者無しという事になりました。

讃岐の風土が育てた数多くの素晴らしい文化に対する県民の意識を高め、良質の文化作りに貢献したいという財団の設立目的の中で、財団賞は文化活動奨励事業の一環として設置されました。

県内のかくれた文化の発掘。我々に残されている伝統文化の継承。その推進力となつて、人知れず努力を重ねて来られた方を出来るだけ発掘して、その功績を讃えたいという願いが込められております。

今回、該当者無しという経緯に付きましては、いろいろな原因があると思いますが、改めて、ご推薦いただき方法を考え直して参る所存です。

改めて受賞候補者の要件に付いて申しあげますと、県内在住者及び県出身者で、地域文化の振興に特に貢献したと認められる個人及び団体で、原則として十五年以上継続している個人及び団体を対象としています。

該当されると思われる候補者の心当たりがある方は、財団事務局まで、お問い合わせ上ります。

今後とも、讃岐の文化作りの為に、ご協力いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

第三回あ・うんの数寄「若人茶会と讃岐もの」について

現代の茶の湯の環境

茶の湯には、戦後の学校教育の中で失われてしまつた日本の伝統文化のいろいろな要素がタイムカプセルのように残されています。

「文化は人なり」と言う言葉がありますが、人は人と直接交流する事で学び、また、新たな発想を得て行くと思います。そういう意味で茶の湯の場は、歴史的に見ても重要な場となりました。直心の交わりの中で胸襟を開いて話が出来る機会を作る。というのも茶の湯の大重要な要素だと思います。

十年間続けて来ました「大茶会」では、たくさんの中元の茶人の皆様にお世話をしながら、流派を超えた交流の楽しさを体験していただきました。イベント的に実施したのは、茶の湯とは縁のなかつた人にも、体験していただきて、興味を持つていただきたいと考えたからです。

現代は、子ども達にとつては大変な時代です。伝統文化の世界に限らず、職人さんの仕事でも、後継者がいないという悩みを抱えているという話を良く聞きます。そうした中でひとつ提案というのがこの「ヤング茶会と讃岐もの」です。今後はちゃんと日本語で「若人茶会と讃岐もの」と名前を変えたいと考えております。よろしくお願いします。

高校の茶道部を募集しています

も、茶の湯を続けて欲しいという期待もありますが、その為に単にお点前を習うだけでなく、茶会でいろんな人たちとの交流を経験して欲しいと考えました。実際に、高校生の皆さんのお席を体験すると、技術的には、基礎の基しか出来ないのは当然ですが、それでも自分たちで考えて、自分たちらしい茶席で、習い始めた頃の素直で清々しい茶の湯に、改めて思い出される方も多いのではないかと思います。

高校の茶道部を募集しています

このイベントは、香川県と高松市と、それぞれの教育委員会にもご後援をいただいておりますが、現実には茶道部や華道部は高校文化連盟には所属していません。どういう理由かはわかりませんが、とにかく茶華道部には、顧問の先生がいて、実際に教えるのは外部の先生に委託するというのがほとんどです。

個々の高校によつて、子ども達の学校の外での活動については、校長先生の許可が必要です。つまりいろんな高校に参加をお願いしたいと思っても、情報を一括で流すという訳にはいきません。県内の全ての高校には文書でご案内はお送りしていますが、ご返事をいただけるのはわずかです。

つきましては、直接お願いに行こうと考えておりますが、友の会や、その他読者の皆様に、もし、県内の高校の茶華道部に関わりがあるとか、ご存知の方がいらっしゃいましたら財団の事務局まで、ご連絡いただき、ご協力を賜りたく存じております。よろしくお願ひします。

中條文化振興財団

編集後記

大きな石、小さな石、角ばつた石、丸い石、くり抜かれた石、重ねられた石、さまざまなかたちが灯りをともしている。むれ源平石あかりロードの約1キロメートル旧庵治街道沿いに置かれている作品たちです。

源平合戦の歴史と伝統の地場産業と芸術がコラボしたこの催しも12回とな

りました。道沿いに並べられていたローソクの揺れるあかりに導かれて歩いた始める頃を思い出します。まさに石ばかりロードでした。

今は、色とりどりのLEDライトが灯されてますが、形造られた石と灯りを通して出展者の心を思うひとときがそこにはあります。

秋の夜長にお出かけして見てください。サヌカイトと共に香川を代表する庵治石の彫刻を！

【声・情報お寄せください】

〒760-0017 高松市番町二丁目一一二

公益財団法人 中條文化振興財団編集部

T E L (087) 826-3355

F A X (087) 826-3355
info@chujo-zaidan.or.jp